

歯科医院で行う半埋伏下顎智歯の抜歯手術 — 抜歯患者の心理的保護と対話 —

日本歯科大学名誉教授
日本口腔外科学会認定専門医
東京歯科保険医協会 監事
西田 紘一

昨年11月17日の茨城県保険医協会歯科臨床研究会にお招きいただきましたことに感謝しております。有り難うございました。

本稿は、当日の講演抄録ではなく、会員諸先生に「下顎半埋伏智歯」をひろく考えていただきたいと思い、手術を進める際のコミュニケーションを課題として取り上げてみました。

下顎半埋伏智歯は、歯科臨床の間では頻度の高い病態です。しかし、その特異な病態と治療ゆえに、抜歯手術は疎んじられる傾向にあります。

昨年のプレゼンを準備しているとき、何故、半埋伏智歯抜歯手術が疎んじられるかを考えてみました。私自身は、卒業以降のほぼ15年間、口腔外科医としての研究課題に「口腔外科手術侵襲と心身反応」を選び、取り組んできました。そのため、手術患者自身が抱く「手術への不安感」を医療者がどう対応するかによるのではないだろうか、と思っています。

もちろん、大部分の先生方は、①パントモ画像の解説、②智歯の病態と予後、③治療の必要性和治療方法、④手術後に守っていただきたい事項の解説などについては、十分な知識と具体的なプレゼンテーションを行っておられます。これらの説明を受けて、安心して手術に臨むことになるのですが、なかには、手術患者が抱く「未知のものへの恐れ」が「不安」として残ります。

私の研究でも、局所麻酔下手術患者の心身反応の多くは、術中に発現しています。そこで、本稿では、私が行っている術中の声掛けを、処置場面ごとに整理してみました。以下は、臨床心理的な配慮を組み込んだ私自身の言葉です。大部分の手術は、この声掛け以外の会話は発していません。

先生方の日常臨床の中でご検討いただき、ご意見を賜れば幸いです。

1) 親知らず抜歯の意思と部位を確認して、前準備に入る場面での会話

「今日の治療は親知らずの抜歯のつもりで、来られましたよね。」

「では、【右下】の親知らずの処置に入ります。」

注：【 】内は、抜歯予定の歯の部位。

「今日は、水をたくさん使いますので、胸元と顔に、タオルを掛けます。」

「最初に口の中と抜く歯の周りの歯肉を水のスプレーで洗います。」

2) 局所麻酔を行う際の会話

「いま洗って消毒した、抜く歯の周りの歯肉【4箇所】に、麻酔のクスリを入れます。これだけは、頑張って下さい。」

注：【 】内は、下顎智歯は4箇所、上顎智歯は3箇所。

「最初は、抜く歯の外側の手前です。」

「一瞬、チクッと感じるかもしれませんが、それだけです。」

「あとは、液が入っていく刺激です。」

「予防注射と違って、液を入れたところからどんどんシビレてきますので、痛みは感じなくなります。」

「二つ目は、外側の奥の方です。場所が広いので移動しながら入れます。」

「三つ目は、内側の奥の方です。」

「喉の方に広がるのを感じるかもしれません。」

「四つ目は、内側の手前です。歯肉が薄くて、硬いので、痛みとして感じるかもしれませんが、ご心配なく。」

3) 歯冠部の形態と麻酔剤の奏功を確認する際の会話

「今から歯がどのように生えてきているか、器具を使って調べてみます。」

「麻酔は効いていますが、この先、もし押されるとは違う痛みのような感じがあつたら教えてください。」

4) 半埋伏智歯の歯冠を分割する際の会話

「レントゲン写真の説明でお分かりのように、この親知らずの生えている方向は他の歯と異なっていますので、削って小さくして取り出します。」

「削る道具は、むし歯を治療するときのものと同じです。」

5) 分割した歯片を取り出す際の会話

「ここまで削って歯を二つに分けました。今から小さい方を取り出します。」

「道具を操作するときの力や音を感じるとは思いますが、心配ありません。」

「私が合図しますから首の後ろの筋肉に一瞬グッと力を入れて下さい。」

「はい、どうぞ。」

「小さい方は取り出しました。」

6) エレベーターの座をつくる際の会話

「このあと、根の部分を取り出すのですが、その前に歯の周りとお骨の間を開いて、道具を入れる部分を作ります。」

「使う機械は、先ほどと同じ虫歯の治療に使う機械ですが、少し響きます。」

7) 歯根部を取り出す際の会話

「いま削って作ったスペースに道具を入れます。」

「先ほどと同じような道具を操作するときの力と音を感じるとは思いますが、私が合図しますから首の後ろの筋肉に一瞬グッと力を入れて下さい。」

「はい、どうぞ。」

8) 術後の創処理の際の会話

「ここまでの操作は、大丈夫だったでしょうか。」

「親知らずは全部を抜き終わりました。」

「これから傷口を保護する処置をして、ガーゼをあてがいます。」

「上下の歯を合わせて、ガーゼを挟んでください。」

「終わりです。今日は、頬っぺたの上から良く冷やして下さい。」

(おわり)